

ごみ減チャレンジ

おおいそ廃棄物減量化等推進員とは
各地区から推薦された方が地区に
対して分別や減量化の指導及び普及啓
発を行います。

2年間こんな活動をしました！

おおいそ廃棄物減量化等推進員の任期は2年で、私たちは平成29年4月から、座学や施設見学を通じてごみに関することを学習し、ごみ集積場所でのごみ出しに来る人に対する声掛けや、スーパーやイベントでごみの減量に関する啓発を行いました。

活動を通じて学んだ、皆さんに取り組んでもらいたいことをお伝えするので、日頃から意識して、ごみの出し方や減量に取り組んでください。

ごみの分け方・出し方に気を付けて！



ごみ集積場所では、分別ができていたものがほとんどですが、中には分別せず、そのまま出されていたり、容器包装プラスチックの汚れが落とされていないなど、正しく出されていないものもありました。

今後も、正しい分別や出し方について、継続して周知をするとともに、新たな周知の方法も考えていかななくてはならないと感じました。

実践してね！

ごみ出しの時間や分別を守ろう！

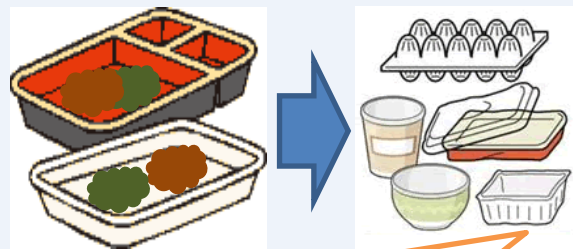
正しい時間や正しい分別で出さないと、収集されません。近隣の方に迷惑をかけてしまいます。出す時間は8時30分まで！分別はごみの分け方・出し方の冊子を確認しよう！

時間や曜日を守ることでカラス被害を減らすことにもつながります！



容器包装プラスチックを出すときは汚れを落としてから！

汚れが付着していると、リサイクルの妨げになります。必ず目に見える汚れは落としてから出してください。



水ですすいだり、拭き取ってから出そう！

ごみを減らそう！～小さなことから少しずつ～



ごみを減らすには、小さなことでも、コツコツと積み重ねて取り組むことが、ごみの減量にとって大切なことだと学びました。推進員の中にはダンボールコンポストやプランターでの生ごみ処理に取り組んでいる人もいました。今後、新たな減量の方法を研究していきたいと思います。

実践してね！

まずは生ごみの水切りから！

生ごみの約8割が水分です。みんなで毎日、少しずつでも水切りをすれば、ごみの減量に効果絶大です！

水切り以外にも乾燥させてから、ごみに出すのも効果的です



食品ロスを減らそう！

調理の際に、食べられる部分まで捨てていませんか？食べられる部分は食べるようにしてください。当然、食べ残しもしないようにしましょう。



1人当たり、毎日お茶碗約1杯分（約136g）のご飯の量を捨てていると言われています。

あとかき

2年間、おいそ廃棄物減量化等推進員の活動として、座学でごみに関する基礎知識を学び、ごみ処理施設を見学した後、実践活動に取り組みました。

集積場所での活動は、自分達の地区等の集積場所に立ち、ごみ出しの状況の確認や、ごみ出しに来る方に対して、出し方等に関する声掛けを行いました。実際に集積場所に立つことで、ごみ出しの実状を知ることができました。分別の方法が分からないといった声や、汚れたまま容器包装プラスチックを出していることもありました。集積場所での声掛けを続けていくと、分別が良くなったり、きれいになった集積場所もありました。

店頭や町内のイベントでの、ごみの減量に関する啓発活動では、生ごみの水切りやマイバックの使用等について啓発を行いました。ごみを減らすということは、一朝一夕で出来ることではなく、生ごみの水切りや、買い物の際に、ごみとなるものは受け取らないなどの、小さなことをみんなで続けることが大切だと感じました。

活動を通じて、大事なものはひとりひとりの意識の持ち方だと思いました。ごみの分別や減量の大切さを学んだので、今後の生活でしっかり取り組んでいきたいと思います。